

3. 「次亜塩素酸水（電解水）」とは違うの？

次亜塩素酸水（電解水）は分解速度が速く、次亜塩素酸の生命線であるpH5.0～6.5を長期間維持する事ができません。また、生成工程で食塩水を用いるため金属の腐食（サビ）の原因となります。

カーボクリニックウォーターは、弊社が開発した「多目的ガス溶解装置（特許第5650046号）」を用いた混合方式により、安定したpH値を維持する事ができ、食塩水を使用しないため腐食（サビ）は水と同程度です。

また、各種生成方法別による次亜塩素酸の保有率が他と比較し95%と5%多く含まれているため、即効性が0.5%向上します。

その他、炭酸ガスの緩衝作用よりpH5.0以下にならないため、有毒な塩素ガスが発生する心配はありません。